



## 七夕で被災地にエールを！

茂原の夏の風物詩である七夕まつりを、今年も7月22日～24日の3日間開催することに決定いたしました。七夕にかかる費用を義援金として送ったかどうかという意見もありましたが、56年間地域の人々に愛されてきた伝統あるこの七夕まつりを行うことで、自粛ムードを吹き飛ばし、元気とエールを被災地に届けたいと考えました。

あの3月11日の震災以来、人々の意識が変化しているように感じられます。ずっと当たり前のように続いていくと思っていた毎日の生活が、決して当たり前ではなかったことに気づかされた人は多いと思います。実際に自分や周りの人には被害はなくても、ニュース等で被災者の状況を見るにつけ、暗澹あんたんとした気持ちになった人も多かったことでしょう。いつまた余震が来るかわからないという不安もあります。ただそれがあまりに行き過ぎて、今までしていたことをしなくなってしまう人も増えてしまったのではないかと危惧しています。自粛ムードが蔓延まんえんし、景気が低迷して地方の活力が削がれると、いずれは被災地を支援することも出来なくなってしまういます。

今被災者でない私たちに必要なのは、3月11日以前の日常生活に少しでも戻していくことではないでしょうか。普通の生活を送れることに感

謝しながら、ただし被災地のことは決して忘れず、防災の意識も高く持ち、それでも普通に生活することです。その中で、自分たちに来ることを探していくことが大切と考えます。

ただひとつ不安なのは原発の問題です。いろいろな情報が錯綜さくそうし、政府や東京電力の言うことも、二転三転し、何を信じていいのか分からないのが現状です。情報の発信源を一つにし、正しいことを迅速に伝えてほしいと心から思います。ただ、この地域での放射能汚染は、検出されていないことは確かなことです。今後もしっかりと、状況を見守っていくつもりですが……。

さて、七夕に話を戻しますが、今回は「チャリティー」として行い、開催時間を短縮して、節電をはかります。協賛金の一部や募金、節減した経費などを、県内を含む被災地に贈る予定です。このように七夕まつりを開催できることは、とても素晴らしいことだと思います。七夕の開催によって、活気ある茂原市が戻ってくることも期待しております。市民の皆さんの温かいご協力をよろしくお願いいたします。茂原市内に来ている被災者の皆さんにも、楽しんでもらえたらとても嬉しいです。

